

# 「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

東大和市立第四小学校 2年

	各教科の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的学習指導計画	評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手を意識して話したり、聞いたりすること。</li> <li>○漢字の字形を正しく書いたり、読んだりすること。</li> <li>○文章の内容を正しく理解し、問われていることに正確に答えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し方・聞き方の指導の徹底を図る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目・耳・心」で「黙って、最後まで」聞くことを徹底する。</li> <li>・相手と考えを伝え合う機会を1日に1回以上確保し、互いに認め合える態度を養う。</li> </ul> </li> <li>○文字指導の徹底（語彙力の向上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字小テストを定期的実施し、定着を図る。</li> <li>・短文を音読する活動を取り入れ、音と文字の認識を一致させていく。</li> <li>・正しい漢字が書けているか、日常から意識して確認する。</li> <li>・ICT教材を活用し、視覚的に字形や部首に親しめるようにする。</li> </ul> </li> <li>○読み解く力の向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習などで音読を繰り返し、内容を理解できるようにする。</li> <li>・文章の中から根拠となる箇所を見付け、動作化や吹き出しを活用しながら、読み解く力の基礎を養う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トークトレーニングとグループワークの積み重ねによって、他者の話を聞く楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・言葉集めの活動、音読、読み聞かせ等で語彙力を高める。</li> <li>・定期的に漢字小テストを実施し、正しく覚えるように指導を続ける。</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間が経つと、計算の手順を忘れてしまうこと。</li> <li>○文章問題を具体的にイメージすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的に計算練習を行わせて確実な定着を図る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算方法の理解を深め、反復練習をする。</li> <li>・ICT教材を活用し、10の構成分解と九九を徹底して身に付けさせる。</li> </ul> </li> <li>○文章問題に多く取り組み、問題を具体的にイメージできるように指導する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに書き方の型を提示し、思考の流れを作り、自分の考えを書く習慣を付ける。</li> <li>・ブロック等、具体物や半具体物操作を取り入れる。</li> <li>・問題文を理解できるようキーワードに注目させ、演算の決定をするよう指導する。</li> <li>・声掛けや板書の工夫をし、テープ図などの利用も勤めてイメージできるようにする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四小タイムを活用し、加法減法の筆算練習、100ます計算、Webアプリ「あわせテン」「九九ハチジュウイチ」を行う。</li> <li>・学び合いの時間を設定し学習内容の理解を深める。</li> </ul>	B
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの事柄に興味関心もち、より良くするために工夫したり問題解決したりしようとする事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が意欲をもって取り組める授業を進める。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材を活用し、児童が身近な事から興味をもって課題に取り組めるように工夫する。</li> </ul> </li> <li>○一人一人が自信をもち、工夫して表現できるように指導を充実させる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な表現方法を指導する。（観察カード、1人1台端末など）</li> </ul> </li> <li>○動植物に接したり育てたりする活動などを通し、五感を使って自然に触れ、季節を感じられる授業を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科と関連を意識して活動を進めていく。</li> <li>・地域の施設や公園を見学する活動を入れる。</li> </ul>	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地声から裏声の転換点で美しい声のまま切り替えること。</li> <li>○拍や拍子を感じる事。</li> <li>○運指を守って鍵盤ハーモニカを演奏すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しみながら音楽表現ができるよう工夫する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭声的発声の練習を毎時間の初めに行い、発声方法への理解深め、美しい歌唱を生み出す経験を積む。</li> <li>・リズムにのって体を動かすなど、音楽の雰囲気味わいながら聴いたり歌ったりする。</li> <li>・簡単なリズムや指使いで演奏できる曲を選び、鍵盤ハーモニカでの演奏に親しむ。</li> </ul> </li> <li>○視覚教材（映像など）を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、世界のいろいろな国の音楽に触れることができるようにする。</li> </ul>	A
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いやイメージをもつことが苦手で、制作を始めるまでに慎重な児童がいる。</li> <li>○パレットや筆、はさみ、のりの使い方の習熟に個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや感じたことを自由に表せるような指導の工夫を行う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の様々な表現を肯定的に受け止める。</li> <li>・作品作りに興味をもてるよう、導入を工夫する。</li> <li>・他の児童の作品等を紹介し、イメージが湧き、意欲を高める。</li> </ul> </li> <li>○様々な材料に触れる機会を作り、安全にイメージ通りに制作できるように図を示しながら説明し、様々な道具を扱う技能を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具や材料の取り扱いについて、繰り返し・継続的に指導する。</li> </ul>	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的基本的な技能(バランス・走・跳・投・蹴・泳)の習得に個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の課題に応じた指導を充実させる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通した運動感覚作りを行っていく。</li> <li>・課題に合わせた運動をスモールステップで指導する。</li> <li>・友達の良い所を見て、具体的に話し合いながら、技能向上を図る。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童同士で見合ったり意見を交流したりする活動を設定する。</li> </ul>	B

